



# 3月 くすのみ便り



社会福祉法人 くすのみ福祉会

令和6年 2月 29日 発行

ひらまつの杜

## ひらまつの杜 法人理念 「鎮守の森を保育の庭に」

・四季折々の豊かな自然がある環境の中で自然と共に生きる気持ちを大切に感じる心を育むこと

## 保育理念 「つなぐ」 過去・現在・未来を

・ひとりひとり自分らしさを十分に発揮し、自らの夢や希望を大切に、希望をもって夢を実現できる社会を共に創造していく

### 3月 行事予定

1	金	ひな祭り 神社参拝	17	日	
2	土		18	月	
3	日		19	火	お別れ会
4	月		20	祝	春分の日
5	火	サッカー	21	木	
6	水	英会話	22	金	
7	木		23	土	新年度説明会 10:00~
8	金	お別れ遠足 おべんとうの日	24	日	
9	土		25	月	避難訓練
10	日		26	火	サッカー
11	月		27	水	
12	火		28	木	
13	水	誕生会 英会話	29	金	
14	木	身体測定	30	土	
15	金	修了式 神社参拝	31	日	
16	土	卒園式			

### 〇お別れ遠足のお知らせ

3月8日に予定しているお別れ遠足は、垂水公園まで子どもたちと保育者でお散歩に行きます。(雨天時は園内でウォークラリーをします。)お弁当、水筒、シート、おやつ(自分の食べられる分のみ。お友だちとの交換はしません。)ご準備をお願い致します。

### 〇力を合わせ心を1つに

2月3日は季節を分ける日とされており、暦の上では立春。春です。病気や怪我、災害等の悪い事を運んでくる「鬼」と子どもたちの心の中にいる「鬼」を「鬼は外!」の大きな掛け声と共に追い払いました。ホールには段ボールで制作した青鬼と赤鬼。毎年、その段ボール鬼を新聞紙ボールを投げて倒すまで投げ続けるという子どもたちの中での決まりがあります。1球1球をそれぞれが投げていると倒れません。「せーの! 鬼は外!」とみんなの力が1つになり、無事に今年も鬼を2体倒すと、大喜びで飛び跳ねたり、ハイタッチをしたり、心も1つになった豆まきになりました。今年も年長の男の子が袴を着て福男になり、福あられを撒いてくれました。今年1年、病気をせず、元気に過ごすことができます。



### 〇ひらまつの杜相撲大会 春場所

今年度、2回目の相撲大会が行われました。トーナメント方式で戦います。土俵に立ち、四股を踏み、「みあって みあって」と対戦相手の目を見て「はっけよい、のこった!」と力比べです。白熱した試合が繰り広げられ、周りの子どもたちも食い入るように見ており、応援にも熱が入っていました。勝って喜ぶ子、負けて悔しくてたまらない表情をする子などそれぞれでしたが、悔しくてたまらないのに、しっかり優勝者を称え、「強かったね!」と声をかけている姿を見て、とても嬉しく感じました。勝負をすれば勝ち負けはつきませんが、たくさんのお友だちの気持ちが飛び交っていました。



### 〇雑巾がけ

毎日おやつが終わると、年長さんがホールの雑巾がけを始めます。バケツに水を汲み、雑巾を洗い、絞る事から自分たちでします。雑巾を絞る事は、子どもにとっては難しく、雑巾をかける事も、ホールの長い距離で一度も膝をつかずに進むことは大変です。毎日の成果で少しずつ長い距離をかけられるようになりました。雑巾がけは、下半身や腕を強化し、体幹を鍛えてバランス感覚を養います。年長さんいつもきれいにしてくれてありがとうございます。



### 〇春がきたよ

先日、お散歩に出かけた、うさぎ組さんとりす組さんが見つけたのは、「つくし」。桜の蕾も膨らみ始め、ピオトープはカエルの卵でいっぱい。ツバメさんも巣を作り園に帰ってきました。春がやってきましたね! つくしは、給食の先生が佃煮を作ってくれて、ほかほかの白ご飯と一緒に美味しかったです。これからたくさんのお春に出会えることができそうです。



### 〇おべんとうありがとう!

毎月(6月~9月を除く)のおべんとうの日は子どもたちにとって楽しみであり、特別な日です。活動中も「お弁当まだ?」と楽しみで楽しみでたまらない様子。お弁当の時間になり、お弁当のふたを開けた瞬間の嬉しそうな表情! 「みてー!!」と嬉しそうで、自慢気に見せてくれますよ。愛情がたっぷり詰まったお弁当、ありがとうございます。



### 〇マラソン大会

寒さに負けない丈夫な体を作り、最後まで諦めない強い気持ちを持つことをねらいとし、16日にマラソン大会を実施しました。澄み切った青空の下、子どもたちは「最後まで頑張る!」「転んでも泣かないで頑張る!」と自分たちで目標を立て、スタート地点へ。沿道にはたくさんの保護者の方が応援に来てくださいました。ご声援や拍手に背中を押され、全員、ゴールまで走りきることができました。「ドキドキした!」「頑張って最後まで走れたよ!」「泣かなかったよ!」「次は速く走れるために、もっと練習する!」と言う子どもたちは、達成感に満ち溢れ、最高の表情をしていました。これから、辛い事、苦しい事、大変な事があっても強い気持ちを持って乗り越える事ができますね。